

令和5年度 第2回学校評価アンケートの結果について

立春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、今年度の学校評価アンケートの集計結果と分析をご報告いたします。この結果をこれからの教育活動に生かしていきたいと思
います。アンケートのご協力、ありがとうございました。

〔第2回の回答数〕 児童129名／135名 保護者78名／103名 教職員14名／14名

領域	番号	回答者	質 問	1学期肯定的評価 (%) あてはまる・だ いたあてはまる	2学期肯定的評価 (%) あてはまる・だ いたあてはまる
生活面	1	児童	学校は楽しいです。	99.2%	97.5%
		保護者	お子さんは、学校が楽しいと言っています。	89.7%	93.0%
		教職員	児童が楽しい学校生活を送れるよう心がけています。	100.0%	100.0%
	2	児童	朝食を毎日とっています。	97.7%	96.6%
		保護者	お子さんは、朝食を毎日とっています。	96.2%	97.2%
		教職員	児童に基本的な生活習慣が身に付くよう指導に努めています。	92.9%	100.0%
	3	児童	友達や先生、地域の人にあいさつができています。	97.7%	95.8%
		保護者	お子さんは、友達や先生、地域の人にあいさつができています。	85.9%	87.3%
		教職員	児童が進んで挨拶ができるよう声かけをしています。	100.0%	100.0%
	4	児童	先生に名前をよばれたら、きちんと返事ができています。	98.4%	96.6%
		保護者	お子さんは、返事がきちんとできています。	84.6%	85.9%
		教職員	児童を指名したとき、きちんと返事ができるよう指導しています。	92.3%	92.3%
	5	児童	進んで運動しています。	96.1%	93.3%
		保護者	お子さんは、進んで運動しています。	74.4%	73.2%
		教職員	児童の体力づくり、健康・安全の指導に努めています。	92.3%	100.0%
	6	児童	黙働清掃ができています。	97.7%	96.6%
		保護者	(記載なし)		
		教職員	児童が黙働清掃できるよう指導しています。	100.0%	92.3%
	7	児童	自分にはよいところがあると思います。	96.1%	88.2%
		保護者	お子さんは、自分のよいところを知っています。	76.9%	85.9%
		教職員	児童の自己肯定感や自己有用感が高まるよう指導を工夫しています。	92.9%	92.3%
8	児童	先生は、分かりやすく授業をしてくれます。	98.4%	96.6%	
	保護者	お子さんは、授業が分かりやすいと言っています。	89.7%	87.3%	
	教職員	分かりやすい授業展開(単元構想を含む)を実践しています。	100.0%	100.0%	

学習面	9	児童	ICT機器やタブレットを使った学習は楽しいです。	99.2%	98.3%
		保護者	お子さんは、ICT機器やタブレットを使った学習は分かりやすいと言っています。	80.8%	85.9%
		教職員	ICT機器やタブレットを効果的に使った授業改善に努めています。	91.7%	83.3%
	10	児童	進んで読書をしています。	96.1%	88.2%
		保護者	お子さんは、進んで読書をしています。	50.0%	46.5%
		教職員	読書指導に努めています。(300冊、50冊達成)	66.7%	81.8%
	11	児童	道徳の時間は、自分の考えを話したり友達の考えを聞いたりしています。	98.4%	94.1%
		保護者	お子さんは、以前より道徳心が高まっていると思います。	88.5%	80.3%
		教職員	道徳の時間を充実させ、豊かな心の育成に努めています。	83.3%	100.0%
	12	児童	自分の目標を決め、それに向かって努力しています。	99.2%	92.4%
		保護者	お子さんは、自分の目標に向かって、主体的に取り組んでいると思います。	75.6%	70.4%
		教職員	児童の自主性が高まるよう指導を工夫しています。	92.3%	100.0%
	13	児童	家庭学習に毎日取り組んでいます。	96.9%	90.8%
		保護者	お子さんは、家庭学習に毎日取り組んでいます。	87.2%	87.3%
		教職員	家庭学習の習慣化が図れるよう指導しています。	100.0%	91.7%
14	児童	(4～6年生)SDGsの達成のために、自分のできるところから行動しています。	81.3%	90.8%	
	保護者	お子さんは、SDGsの達成のために自分の出来ることを実践していると思います。	61.5%	54.9%	
	教職員	SDGsを意識し、社会の変化に対応できる能力の育成に努めています。	83.3%	83.3%	
15	児童	授業では、自分の考えを話したり書いたりして表現しています。	97.7%	92.4%	
	保護者	お子さんは、以前より自分の考えを表現する力が高まっています。	89.7%	84.5%	
	教職員	児童の表現力が高まるよう指導を工夫しています。	100.0%	91.7%	
生活指導	16	児童	約束やきまりを守って生活しています。	96.9%	96.6%
		保護者	お子さんは、約束やきまりを守って生活しています。	92.3%	95.8%
		教職員	児童が約束やきまりを守って生活できるようにしています。	100.0%	100.0%
	17	児童	先生は、みなさんが悪いことをしたときに、きちんと指導しています。	100.0%	96.6%
		保護者	学校は、子どもが悪いことをしたときにきちんと指導しています。	93.6%	95.8%
		教職員	児童の問題行動については適切に指導しています。	100.0%	100.0%
	18	児童	困ったことや悩みがあったとき、先生に相談できています。	94.6%	89.9%
		保護者	学校は、子どもや親からの相談に適切に応じています。	96.2%	95.8%
		教職員	児童や親からの相談に適切に応じています。	100.0%	92.3%

	19	児童	先生は、いじめのない学校・学級づくりをしています。	99.2%	96.6%
		保護者	学校は、いじめのない学校・学級づくりに努めています。	92.3%	93.0%
		教職員	いじめの未然防止や早期発見・解決を心がけています。	100.0%	91.7%
その他	20	児童	学校だよりや学年だより、ホームページ、連絡メールなどを通して学校の様子を家の人と話しています。	89.9%	89.9%
		保護者	学校だよりや学年だより、ホームページ、連絡メール等を通して学校の様子や連絡を把握するようにしています。	100.0%	98.6%
		教職員	学校だよりやホームページ、連絡メール等で学校の様子や連絡を伝えています。	71.4%	71.4%
	21	児童	学校と、家庭や地域の人たちは協力し合っていると思います。	99.2%	93.3%
		保護者	学校と、保護者や地域が連携して教育活動を行っていると思います。	92.3%	88.7%
		教職員	保護者や地域の方と連携して教育活動を行っています。	78.6%	71.4%

〈アンケート結果について〉

【めざす児童像について】

本校では、学校ホームページなどでお伝えしておりますように、教育目標を踏まえ、次の4つを「めざす児童像」として教育活動に取り組んでいます。

- ① 進んで行動し、思いやりのある子
- ② 自分の考えを表現する力のある子
- ③ 主体的に学習に取り組める子
- ④ 自主性があり、根気強さのある子

また、重点施策に「平潟小4つの合言葉」として「あいさつ」「返事」「読書」「黙働」を児童に伝えています。児童の自主性や表現力の向上については比較的高い結果でした。合言葉にある「あいさつ」「返事」「読書」「黙働」については「読書」にやや落ち込みがありますが、他は高評価となっています。今後も教育目標の実現を目指して日々の授業や学校行事を充実させ、児童が楽しい学校生活を送れるよう取り組んでいきます。

【学習面について】

学習面の項目では、児童や教職員の回答はどの項目も比較的高い結果となりました。本校では、表現力に育成に重点を置き、アウトプットや学習の振り返り、児童同士の学び合いを積極的に取り入れ、児童主体の分かりやすい授業の実践に努めています。ICTを有効に活用した授業も様々な教科で展開されています。昨年度から課題となっていた「読書」についてですが、毎月の「ブックday」や図書委員による読み聞かせ、新書の購入等の取組により、50冊読書達成者が徐々に伸びてきました。今後も、児童が主体となる学習活動を展開していきます。

【生活面について】

生活面の項目では、1学期同様、どの項目も比較的高い結果となりました。学校では、児童の様子を日々見守るとともに、学校生活アンケートや教育相談に加えて「心の安全点検」という生活アンケートを毎月実施しています。児童の小さな変化や、児童や保護者からの相談を受けて、声かけをしたり必要に応じて面談を行ったりしながら、児童の心身の健康状態の把握に努めてきました。ご家庭でもお子さんと話す機会を十分とっていただき、何かお気づきの点がございましたら、担任や養護教諭等、学校職員にご相談ください。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが定期的に来校しておりますのでご活用ください。いじめについては、アンケートを実施したり学校ホームページの相談窓口を活用したりなど、未然防止や早期発見に努めています。児童同士のトラブルがあった場合は、関わっている児童の話を中心に状況を把握するとともに、「いじめは絶対に許さない」という姿勢で対応してきました。今後も道徳の授業を中心とした教育活動全般を通して、児童の思いやりの心を育てていきます。また、トラブルの中にはSNSに関連して起きているものがあります。学校でも授業や集会等でSNSの使用については指導をしておりますが、ご家庭の連携と協力が不可欠です。お子さんのSNS等の使用の状況について把握していただき、発達段階に応じた使用のルールづくりをするなど、ご指導についてもよろしくお願いいたします。

【保護者・地域との連携について】

保護者や地域との連携のための情報発信は非常に重要と考えています。学校からの情報発信や教職員の対応についても比較的高い結果でした。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。今後も、保護者の皆様との連携を密にし、児童の様子がご家庭や地域に伝わるよう、学校だよりや学校ホームページを活用していきます。

【自由記述について】

自由記述では、学校行事に関するご意見、生活指導に関するご意見をいただきました。いただきましたご意見に関しましては、真摯に受け止め、改善に努めてまいります。

学校評価の実施によって見えてくる学校の現状や課題を明らかにし、それを学校・保護者・地域が共有し、子どもの健やかな成長の実現に向けて協力し合うことが大切です。今回の結果をこれからの教育計画や重点施策に生かしていきたいと思っております。本校職員一同、児童の健やかな成長のために力を尽くしてまいります。今後も本校教育活動へのご理解とご協力をお願いします。